

# 事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	35	介護保険	事業コード	35865
事業名	介護給付適正化事業費					
評価担当課	所属名	保) 高齢保健福 介護保険課				
	課長名	栗山 学	担当者名	櫛引 彩華	電話番号	011-211-2547
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象      ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象      ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費      ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理      ○ 法定経費      ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営      ● 一部委託      ○ 全部委託      ○ 補助助成      ○ その他				
	目的	短期	毎年度ごとに介護サービス利用者に対し過去1年間の介護サービスの利用額を知らせる、介護給付費通知を送付する。また、介護支援専門員が作成したケアプランが本人の自立に資するものとなり、適正な介護給付がなされているか点検する。			
		長期	適正な介護給付を実施する。			
	取組内容	<p>【目的】適正な介護給付を実施する。</p> <p>【内容】国が示す介護給付適正化計画において位置づけられている事業の実施。</p> <p>①介護給付費通知: サービス利用者へ過去1年間のサービス利用額を通知する事業。</p> <p>②ケアプランの点検: 利用者が真に必要な適切なサービス提供かを点検する事業。</p> <p>③介護支援専門員研修(ケアマネジメントリーダー活動支援事業): 介護支援専門員の資質向上のため介護支援専門員対象の研修を行う事業。</p>				
	実施結果	国が示す介護給付適正化計画において重点項目として位置づけられている事業のうち、介護給付費通知とケアプランの点検を行うことにより、不適正なケアプランや不正請求が行われることを防ぐことができた。				
事業実施における工夫点	③については、市内の介護支援専門員の大多数が加入する組織で、区別に支援活動をするなど本市の介護支援専門員の課題を熟知している一般社団法人札幌市介護支援専門員連絡協議会に業務委託し、効果的な研修を実施できるよう工夫している。					
対象者	介護保険サービス利用者、介護支援専門員	開始	平成21年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	「第5期(令和3年度～令和5年度)介護給付適正化計画(令和2年9月3日)」					
他都市の状況	全国の市町村で実施されている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算
事業費	8,617	18,312	11,012	18,250
うち特定財源	8,617	18,312	11,012	18,250
人工	0.0	0.0	0.0	0.0
人件費	0	0	0	0
計(事業費+人件費)	8,617	18,312	11,012	18,250
事業費の内訳	令和3年度決算	11,012,234円		
	令和4年度予算	18,250,000円		

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	介護給付の適切な執行			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	国が示す介護給付適正化事業において重点項目として位置付けられている事業のうち、介護給付費通知とケアプランの点検を行うことにより、不正請求が行われることや不適切なケアプランが作成されることを防ぐことが出来ている。また、主任介護支援専門員と介護支援専門員に関するケアマネジメントの現状と課題を共有する研修も実施し、さらなるケアマネジメント能力の向上に資することが出来ている。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	国が示す介護給付適正化計画には、利用者等に対する訪問調査を行う福祉用具購入・貸与調査事業があげられている。この事業を実施することにより、さらに本市が行う保険給付が適切に行われることとなるが、現在の体制で考え得る適正化事業が行われている。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	給付費通知は、給付実績を保管している国保連と共同して業務が適切に行われている。ケアプランの点検については、一般社団法人北海道介護支援専門員協会へ、ケアマネジメントリーダー活動支援事業については、札幌市介護支援専門員連絡協議会(札幌市ケアマネ連協)に業務委託し実施している。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	被保険者に介護サービス費がどれだけ支払われているかを示すことにより、利用者から介護サービス費の過剰請求や架空請求の情報が寄せられ、札幌市におけるより適正な介護給付を行うこと可能となる。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応		<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映
今後の改善点	介護給付費通知を送付しなければ、利用者から寄せられる介護サービス費の過剰請求や架空請求の情報を入手することが困難となるため、札幌市におけるより適正な介護給付を行うためには継続して事業を実施していくことが必要。 ケアマネジメントリーダー活動支援事業については、主任介護支援専門員の指導力向上を図るための研修または意見交換会を実施するなど、より実践に近い内容を学べる研修とする。				
前回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	令和4年度からは、ケアプラン点検を行った事業所から成果指標を把握するため、アンケートを実施する。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	<input checked="" type="radio"/> A <input type="radio"/> B <input type="radio"/> C <input type="radio"/> 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	ケアプラン点検については、国が示す介護給付適正化計画において重点事項と位置付けられており、介護保険の保険者として実施すべき業務であることから、今後もケアプラン点検を行う必要がある。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input checked="" type="radio"/> 改善 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 休止・廃止 なし。			
	予算	<input checked="" type="radio"/> 拡充 <input type="radio"/> 現状維持 <input type="radio"/> 縮小 <input type="radio"/> その他 本市における介護サービス利用者は年々増加していることから、拡充することが想定される。		見直し効果額	0